

2025年1月 教会行事予定表

曜	午前	午後
1水	ミサ 10:00 新年交礼会 (ミサ後) 茶話会	
2木	ミサ 10:00	
3金	ミサ 10:00	
4土	ミサ 10:00 掃除: 蘭岳	
5日	ミサ 9:30 (典礼: 白鳥) 運営委員会	
6月		
7火		
8水	こっとな倶楽部は1月中お休みです	キリスト教講座① 18:30
9木		
10金		
11土	ミサ 10:00 キリスト教講座②ミサ後 掃除: 蘭岳	
12日	集会祭儀 9:30 (典礼: 楽山) 例会日 クリスマス飾り片付け	
13月		
14火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
15水		キリスト教講座① 18:30
16木		
17金		
18土	掃除: 蘭岳	
19日	ミサ 9:30 (典礼: 蘭岳) 新年会	
20月		
21火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
22水		キリスト教講座① 18:30
23木		
24金		
25土	ミサ 10:00 キリスト教講座②ミサ後	
26日	集会祭儀 9:30 (典礼: 太平洋)	
27月		
28火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
29水		キリスト教講座① 18:30
30木		
31金		



	12月	1月	2月	3月
1週	楽山	白鳥	太平洋	蘭岳
2週	蘭岳	楽山	白鳥	太平洋
3週	太平洋	蘭岳	楽山	白鳥
4週	白鳥	太平洋	蘭岳	楽山
5週	蘭岳			太平洋
掃除	楽山	蘭岳	太平洋	楽山

12月15日(日)	ミサ・共同回心式	
12月24日(火)	主の降誕夜半のミサ 20:00	ミサ後パーティー
12月25日(水)	主の降誕ミサ 9:30	ミサ後パーティー
12月29日(日)	聖家族の祝日ミサ 9:30	ミサ後茶話会
12月31日(火)	1年間最後感謝ミサ 10:00	
2025年		
1月1日(水)	神の母聖マリア(祭)ミサ10:00	新年交礼会
1月2日(木)~4日(土)	ミサ 10:00	
1月5日(日)	ミサ 9:30	運営委員会

2024 12/8

ひとつになろう

カトリック東室蘭教会広報誌 毎月第2日曜発行



〒050-0073
室蘭市宮の森町4-9-7
☎0143-44-3851



2025聖年

希望の巡礼者

JUBILEE 2025 Peregrinantes in Spem

教皇フランシスコは、2月11日、新福音化推進評議会議長サルバトーレ（リノ）・フィジケラ大司教に宛てた書簡を発表し、2025年の聖年の開催を告知しました。

詳細については、今後公布される大勅書によって明らかになります。聖年に向けて準備するよう、呼びかけられています。

教皇フランシスコ
サルバトーレ（リノ）・フィジケラ大司教に宛てた、2025年聖年のための書簡
サルバトーレ（リノ）・フィジケラ大司教様
教皇庁新福音化推進評議会 議長

聖年は、教会生活において、つねに霊的、教会的、社会的に重要な出来事です。ボニファツィオ八世が1300年に最初の聖年を（100年の周期で——のちに聖書のモデルである50年に変更され、さらに25年に固定）制定して以来、信仰深い神の民は、この祝いを、罪のゆるし、とくに神のいつくしみを十分に表現した免償によって特徴づけられる特別な恵みのたまものとして経験してきました。信者は、通常、長い巡礼の旅の終わりに聖なる扉をくぐり、ローマの大聖堂に保存されている使徒ペトロとパウロの聖遺物を崇敬することによって、教会の霊的宝に触れます。何世紀もの間、何百万人もの巡礼者がこれらの聖なる場所を訪れ、堅固な信仰の生きたあかしとなってきました。

2000年の大聖年によって、教会はその歴史の中の第3の千年期を始めました。聖ヨハネ・パウロ二世教皇は、歴史的分裂を乗り越えたすべてのキリスト者が、人類の救い主であるイエス・キリストの生誕2千年をともに祝うことができると願い、切望していたのです。21世紀の最初の25年目が近づくにあたり、キリスト者がこの聖なる年をその司牧的意義のすべてにおいて生きることができるよう準備を開始するよう、わたしたちは求められています。この点で、重要なステップは「いつくしみの特別聖年」でした。この聖年によって、わたしたちは御父

のあわれみ深い愛の力と優しさを十全に再発見し、それによって今度はわたしたちが御父の証人となることができるようになりました。

しかし、この2年間、予期せぬ新型コロナウイルスのパンデミックに見舞われなかった国はなく、それによって孤独死という悲劇、存在の不確かさ、はかなさを見せつけられたことに加え、わたしたちの生き方も変えられてしまったのです。キリスト者であるわたしたちは、兄弟姉妹とともに同じ苦しみや限界を乗り越えてきました。学校、工場、オフィス、店舗、余暇の空間と同様に、わたしたちの教会も閉鎖されました。わたしたちは皆、いくつかの自由を制限され、パンデミックは、痛みに加えて、ときにわたしたちの魂に、疑い、恐れ、困惑を呼び起こしました。科学者たちはいち早く一次治療法を発見し、徐々に日常生活に戻れるようにしたのです。わたしたちは、このパンデミックが克服され、世界が人間関係や社会生活のリズムを取り戻すと確信しています。もっとも不利な立場にある人々を放置することなく、科学の発見と必要な医薬品をすべての人に分け与えることができるよう、わたしたちが連帯して行動すれば、このことは容易に達成されるでしょう。

わたしたちは、与えられた希望の炎を燃やし続け、すべての人に、開かれた精神、信頼する心、広い視野をもって未来を見つめる力と確信を回復させるため、全力を尽くさなければなりません。来るべき聖年は、わたしたち全員が緊急性を感じている新たな再生のしるしとして、希望と自信に満ちたムードを再構築するために、大いに助けとなるでしょう。こうした理由から、「希望の巡礼者」というテーマを選びました。もしわたしたちが全世界に広がる同胞意識を取り戻すことができれば、そして何百万人もの男女、若者、子どもたちが人間らしく尊厳をもって生きることを妨げている、蔓延する貧困の悲劇に目を閉ざさなければ、これはすべて可能でしょう。とくに、自分の土地を離れることを余儀なくされている多くの難民のことを考えています。聖

2024年度 第8回運営委員会 議事録

2024年11月30日(日)13:45~15:15

議事録1. は、開催日時は表題のとおりです。議事録3. は出席者名で省略します。

3. 報告:

3.1, 12月・1月の予定

12月

- 11月30日(土) 13:30~ 12月の運営委員会
- 日(日) 待降節第1主日、ミサ (楽山典礼当番)
ミサ後 黙想会 (蓑島神父)
- 8日(日) 待降節第2主日ミサ (小林師蘭岳地区当番)
例会日 クリスマス飾り付け
- 15日(日) 待降節第3主日、ミサ(太平洋典礼当番)
共同回心式
- 22日(日) 待降節第4主日、集会祭儀(白鳥典礼当番)
- 24日(火) 主の降誕祭夜半ミサ 20:00
(ミサ後 パーティ)
- 25日(水) 主の降誕ミサ 9:30 (ミサ後 パーティ)
- 29日(日) 聖家族の祝日、ミサ (蘭岳典礼当番)
ミサ後 茶話会
- 31日(火) 1年間の最後の日 感謝ミサ10時
(於: 東室蘭教会)

1月

- 1日(水) 神の母聖マリアの祭日ミサ 10時
新年交礼会
- 2日(木) ~4日(土) ミサ10時
- 5日(日) 主の公現、ミサ (白鳥地区典礼当番)、
ミサ後 1月の運営委員会
- 12日(日) 主の洗礼、集会祭儀 (楽山典礼当番)、
例会日、クリスマス飾りの片付け
- 19日(日) 年間第2主日、ミサ
(蘭岳地区典礼当番)、新年会
- 26日(日) 年間第3主日、集会祭儀 (太平洋典礼当番)
※毎週の行事 (変更の場合あり)
 - ・火曜日午前10時~0PC (パソコン倶楽部)
→12/24・12/31・2025/1/7は休み
 - ・水曜日午前10時~ こっこん倶楽部
→2025/1は全て休み
 - ・水曜日午後6時30分~ キリスト教講座
→12/25・2025/1/1は休み
 - ・木曜日午前9時30分~ セシリアコーラス
→12/26は休み、2025年以降の予定は未定
 - ・第二及び第四土曜日ミサ午前10時
ミサ後、キリスト教講座 →12/28は休み

3.2 苫小牧地区連絡協議会 (11/17) について

- 2024年度第2回 苫小牧地区連絡協議会が行われた。トピックスは以下の通り。
- ・伊達教会では11/24 (日) に市民活動センターで映画上映会を開催 (宣教活動の一環)
- ・静内教会では小学4年生 2人が初聖体の勉強中車で約40分の距離のため保護者が送迎、普段から教会に来ている訳でもなかったとのこと。
→今後のあり方として、教会移転も考えたが費用の問題で断念。
初聖体の勉強をしている子どもたちが終わり次第、数年以内の閉鎖も検討中
- ・シノドスのアンケート結果は、バチカンからの報告

が来た段階

- これからアジア → 日本 → 札幌と段階的に落ちてくる予定とのこと
- ・2025年度の信徒使徒職大会について、日程・会場等の概要が決まり次第、宣教司牧評議会の方へ連絡
※苫小牧地区の教会運営のあり方を知り、ゲスト参加したい方がいるかも

3.3 財務報告

電気代が上がってきているものの、全体としては問題なし

4. 議事:

- 4.1 降誕祭及び正月三が日のミサの対応について
毎週のお知らせや3.1報告にもある通りで3.1報告のほか
 - 12月31日 (火) 10:00 ミサ
 - 1月1~4日 10:00 ミサ
典礼当番は参加者で行う。
- 4.2 新年交礼会・新年会について
1月1日(水)新年交礼会は例年のようにお茶、ジュース等で祝う
1月19日(日) 新年会は女性部に対応をお願いしたい。ビンゴゲーム等、何らかの催し物を壮年部で企画
- 4.3 12月からのミサ、集会祭儀の典礼当番について
4Pの表をご覧ください
- 4.4 信徒使徒職大会について
日時・内容などをこれから検討
室蘭ブロックの各教会代表が出揃い次第、本格的に検討を開始
女性大会との兼ね合いもあり、現時点では何らかの形で開催したいと考えているが、これから各教会女性部と協議
- 4.5 その他
 - ・クリスマスプレゼント小冊子とお菓子袋 例年通り (カルメル会クッキー10セット用意)
 - ・神父様へのクリスマスプレゼント例年通り (松岡さんにて準備)
 - ・来年度は役員選挙があるため、1月に入り次第選挙管理委員の選出必要

5. 司祭の予定等:

- 5.1 ライヤ神父様の予定
- 5.2 ミサ・集会祭儀の予定

12月		1月	
12/1	蓑島師	1/5	ライヤ師
12/8	小林師	1/12	集会祭儀
12/15	ライヤ師	1/19	ライヤ師
12/22	集会祭儀	1/26	集会祭儀
12/29	ライヤ師		

けることが重要でしょう。第二バチカン公会議の四つの憲章は、この数十年間の教導権とともに、聖なる神の民を方向づけ、導き続け、すべての人に喜びに満ちた福音を告げ知らせるという使命を発展させるでしょう。

慣例に従って、後日発行される大勅書には、2025年の聖年を祝うために必要な指示が含まれます。この準備の時期に、聖年の行事に先立つ2024年を、偉大な祈りの「響き合い」に捧げることができると思うとうれしいかぎりです。何よりもまず、主の前に立ち、主の声を聴き、主を崇めるといふ願いを回復する祈り。わたしたちに対する神の愛からの多くのたまもの感謝し、創造のわざをたたえるために、被造界を尊重し、それを保護するために具体的かつ責任ある行動をとることを約束する祈り。連帯し日々の糧を分かち合うことに還元される、「心も思いも一つにした」(使徒言行録4・32参照) 声としての祈り。この世のすべての人が唯一の神に向かい、心の奥底にあるものを神に表現できるようにするための祈り。聖性への大通路として、わたしたちを行動において観想を生きるよう導く祈り。言い換えれば、熱心に祈る一年とし、豊かな恵みを受け取るために心を開き、イエスが教えてくれた「主の祈り」を弟子たち一人ひとりの人生のプログラムとするのです。

聖母マリアに、聖年という恵みのときに向けた準備の道を教会とともに歩んでくださるようお願い、感謝とともに、大司教様とその協力者に心からの祝福を送ります。

ローマ

サン・ジョヴァンニ・イン・ラテラノ大聖堂にて
2022年2月11日
ルルドの聖母の記念日
フランシスコ

書の命令に従って、すべての人が大地の実りを手にすることができるように回復する「安息の年(聖年)」への準備のこの時期に、どうか貧しい人々の声が聞き届けられますように。「安息の年に畑に生じたものはあなたたちの食物となる。あなたをはじめ、あなたの男女の奴隷、雇い人やあなたのもとに宿っている滞在者、更にはあなたの家畜や野生の動物のために、地の産物はすべて食物となる」(レビ25・6-7)。

したがって、わたしたちを回心へと導く聖年の霊的側面は、社会生活のこうした基本的側面と結びついて、首尾一貫した全体を形成しなければなりません。わたしたちは皆、自分は巡礼者であり、この地を耕し、世話するように主が連れてこられたのだと感じています(創世記2・15参照)。その道中、被造界の美を観想し、わたしたちの共通の家を世話することを、わたしたちは怠ってはなりません。来るべき聖年も、このような意図をもって祝われ、生きられるよう願っています。実際、多くの若者や青少年を含む多くの人々が、被造界へのケアは神への信仰と神のみ旨への従順さの本質的な表現であることを理解しています。

わたしは、聖年が、熱心な信仰、生きた希望、実践的な愛をもって準備され祝われるために適切な方法を見出す責任を、親愛なる兄弟である大司教様にゆだねます。新福音化推進評議会は、この恵みの時を、この数年間にシノドスへの取り組みを強化するよう求められているラテン典礼と東方典礼両方の部分教会の司牧のための重要な行程とする方法を知っているはず。この視点に立って、聖年に向けた巡礼によって、多様性の調和の中で一致のしるしと道具となるために、教会が従うよう求められている共通の道は強められ、明らかにされるでしょう。一つの教会を築き上げるために聖霊が絶えず与えてくださるカリスマと奉仕職に感謝しつつ、責任ある参加を全世界に呼びかける要請を再発見できるよう助

←11月に緊急支援物資を送った時のお礼状です。嬉しいです。ね。
↓室蘭民報に載った記事です。バザー頑張りましたよね。



部を市社協の高木康事務局長へ手渡した。同教会のライヤ・フランシス主任司祭は「社会福祉や誰かのために役立ててもらえれば」と思いを述べた。同教会の櫻庭靖尚運営副委員長、委員長代行は「地域の皆さまの力になるように使ってほしい」と思いを込めた。
高木事務局長は「いただいた善意を大切に使用させていただきます」と感謝した。
(石原采音)

